銚子ジオパーク推進市民の会ニュース

第７１号
2017年６月22日

連絡先　茂木
TEL　09089472869
http://choshi-geopark.com/

平成29年度銚子ジオパーク推進協議会定期総会に出席して

工藤　忠男

今年度の銚子ジオパーク推進協議会の定期総会が5月31日銚子市青少年文化会館にて行われました。

今年は再認定審査後の初めての総会で、次の再認定に向けての新しいスタートの年です。

推進協議会会長の越川市長をはじめ、多くの推進協議会構成団体の出席がありました。議題は昨年度の協議会事業報告、収支決算報告、今年度の事業計画、収支予算です。

市民の会関係では、昨年度の事業報告の中で、市内小学校6年生向けふるさと学習「大地のつくりと変化」、「地質の日」記念イベント、夏の自由研究ツアー、日本のジオパーク展、キャベツまるごとジオツアー、ジオサイト保全活動であるジオサイト清掃活動、市民の会勉強会の県立中央博物館高橋直樹氏による「石材が語る、火山がつくった日本列島」等6回分の紹介、若宮八幡宮夏祭り参加、ジオカフェ等の紹介がありました。

このような活動を通じて、市民の会の活動も推進協議会の関係団体に周知されてきております。

新年度の事業計画としては、事務局は昨年度の事業を引き継ぐと同時に、生態サイトや地質サイトの調査、ジオサイトの調査見直し、新規ジオサイトの掘り起こし、デジタルアーカイブの整備、ジオストーリー研修、首都圏の小・中・高・大学の教育旅行の宣伝・誘致・実施などの新しい事業が盛り込まれる事になりました。

市民の会も推進室に協力して、新しい事業に協力することになると思います。

その後新しいジオガイド認定式があり、総会は終了しました。

下総台地と人々の暮らしをたどるジオツアー

銚子ジオパーク推進室　山田　雅仁

銚子における大地と人々の暮らしの関わりを知ってもらうために、6月11日に「下総台地と人々の暮らしをたどるジオツアー」を開催いたしました。参加者は、33名で満員御礼でした。当日の天気は、暑くもなく、雨も降らずに、快適なジオツアー日和となりました。

まず、銚子市青少年文化会館からバスに乗車し、地球の丸く見える丘展望館に行きました。ここでは、銚子の大地の成り立ちの概要について、認定ジオガイドから話しを聞きました。続いて、屏風ケ浦に移動して、屏風ケ浦の大地の成り立ちや、動植物の話しを聞きました。

続いて、余山貝塚に行きました。ここでは、縄文時代の人々の暮らしに思いをはせながら、当時の道具を見たり、話しを聞いたりしました。

ここで、昼食として、大地の恵み弁当を食べながら、紙芝居を見ました。

午後には、下総台地の高さを感じてもらうために低地から、標高差約50m、距離約2kmを歩いて、弁財天古墳へ行きました。弁財天古墳では、古事記の内容を踏まえて、小松繁先生が説明しました。参加者のみなさまは、とても関心をもって話しを聞いていました。

その後、本城ドックへ行き、利根川東遷事業や利根川舟運について、話しを聞きました。

最後に、オプションとして、銚子市青少年文化会館の銚子ジオパークミュージアムと、考古展示室の見学をしました。

今回のジオツアーは、参加者の90％以上の方が満足してくださり、銚子の良さを改めて知ることができたなどの感想をいただきました。

参加者のみなさま、この企画に関わってくださいましたみなさま、ご協力をいただきまして、どうもありがとうございました

今月の俳句

雑草の　勝手気まゝ　思うまゝ
夏がゆく　夕闇とまれ　外川港
保立　得造